平成27年度　単位互換科目・共同開講科目一覧

福岡市西部地区五大学連携　単位互換科目・共同開講科目「博多学」 連絡窓口

大学名	No.	窓口	電話番号
九州大学	No.1～No.23 (23)	学務部学務企画課 企画調査係	092-802-5927、5928
西南学院大学	No.24～No.50 (27)	教務部教務課	092-823-3273
中村学園大学	No.51～No.64 (14)	教務課	092-851-6742
福岡歯科大学	No.65～No.66 (2)	学務課教務係	092-801-0411　内線572
福岡大学	No.67～No.75 (9)	教務部教務課	092-871-6631　内線2512

()は各大学の開講科目数を示す。

共同開講科目数　合計　1　科目
単位互換科目数　合計　75　科目

No.	開講大学	開講部局 開講場所	科目名	担当教員	内容	対象者	履修条件	受入可能人数	単位	開講形態 集中・土日開講等	申込締切等	授業開始日	試験日
1	九州大学	基幹教育院 福岡演習林	フィールド科学研究入門 （里山プログラム）	○古賀信也 大槻恭一 大賀祥治 笠原玉青 内海泰弘	福岡市近郊の里山を対象に、実際に歩き、見て、触れて、測り、身近な自然について、グループディスカッションを通じ考えます．プログラムを修了した時には、森林の面白さと、一方通行で与えられている情報と自ら測り・考えて得る知識とのギャップを感じることでしょう。 （http://www.forest.kyushu-u.ac.jp/FSC_2015/FSC2-2015-index.html）	学部1・2年生 （学部は問いません）	山、川、牧場等での実習を厭わず進んで参加でき、自然や生物に関心のある学生 現地集合ができる学生 学生教育研究災害傷害保険（学研災）に加入のこと	3名程度	2	集中（3泊4日）	6月12日	8/18（火） ～8/21 （金） の4日間	なし
2		基幹教育院 宮崎演習林	フィールド科学研究入門 （山岳森林生態プログラム）	○菱 拓雄 田代 直明	野外における講義・実習を通じて、人間や生物と環境との関わりについて学びます。山岳森林生態プログラムでは、宮崎演習林にて「山岳地の森林の成り立ちや構造」をテーマとします。 （http://www.forest.kyushu-u.ac.jp/FSC_2015/FSC2-2015-index.html）	学部1・2年生 （学部は問いません）	山、川、牧場等での実習を厭わず進んで参加でき、自然や生物に関心のある学生 現地集合ができる学生 学生教育研究災害傷害保険（学研災）に加入のこと	4名以内	2	集中（4泊5日）	6月12日	8/17（月） ～8/21 （金） の5日間	なし
3		基幹教育院 北海道演習林	フィールド科学研究入門 （北海道プログラム）	○久米 篤 智和 正明	野外における講義・実習を通じて、人間や生物と環境との関わりについて学びます。北海道プログラムでは、北海道演習林から雌阿寒岳において「十勝の森林景観と土地利用」をテーマとします。 （http://www.forest.kyushu-u.ac.jp/FSC_2015/FSC2-2015-index.html）	学部1・2年生 （学部は問いません）	山、川、牧場等での実習を厭わず進んで参加でき、自然や生物に関心のある学生 現地集合ができる学生 学生教育研究災害傷害保険（学研災）に加入のこと	5名以内	2	集中（4泊5日）	6月12日	9/7（月） ～9/11 （金） の5日間	なし
4		基幹教育院 屋久島	フィールド科学研究入門 （屋久島プログラム）	○吉田 茂二郎	野外における講義・実習を通じて、人間や生物と環境との関わりについて学びます。屋久島プログラムでは、屋久島にて「屋久島の多様な自然と人間活動」をテーマとします。 （http://www.forest.kyushu-u.ac.jp/FSC_2015/FSC2-2015-index.html）	学部1・2年生 （学部は問いません）	山、川、牧場等での実習を厭わず進んで参加でき、自然や生物に関心のある学生 現地集合ができる学生 学生教育研究災害傷害保険（学研災）に加入のこと	2名以内	2	集中（3泊4日）	6月12日	9/7（月） ～9/10 （木） の4日間	なし
5		基幹教育院 水産実験所	フィールド科学研究入門 （アクアフィールドプログラム）	○及川 信 吉国 通庸 鬼倉 徳雄	野外における講義・実習を通じて、人間や生物と環境との関わりについて学びます。アクアフィールドプログラムでは、津屋崎水産実験所にて「人間活動と海洋環境の繋がり」をテーマとします。 （http://www.forest.kyushu-u.ac.jp/FSC_2015/FSC2-2015-index.html）	学部1・2年生 （学部は問いません）	山、川、牧場等での実習を厭わず進んで参加でき、自然や生物に関心のある学生 現地集合ができる学生 学生教育研究災害傷害保険（学研災）に加入のこと	2名	2	集中（3泊4日）	6月12日	8/17（月） ～8/20 （木） の4日間	なし

No.	開講大学	開講部局 開講場所	科目名	担当教員	内容	対象者	履修条件	受入可能人数	単位	開講形態 集中・土日開講等	申込締切等	授業開始日	試験日
6	九州大学	基幹教育院 高原農業実験実習場	フィールド科学研究入門 （体験型家畜生産生態学入門プログラム）	○後藤 貴文 高橋 秀之	野外における講義・実習を通じて、人間や生物と環境との関わりについて学びます。体験的家畜生態生産学入門プログラムでは、久住高原農場にて「環境保全型で安全な牛肉の生産システム」をテーマとします。 （http://www.forest.kyushu-u.ac.jp/FSC_2015/FSC2-2015-index.html）	学部1・2年生 （学部は問いません）	山、川、牧場等での実習を厭わず進んで参加でき、自然や生物に関心のある学生 現地集合ができる学生 学生教育研究災害傷害保険（学研災）に加入のこと	3名以内	2	集中（3泊4日）	6月12日	9/15（火）～9/18（金）の4日間（予定）	なし
7		基幹教育院 病院キャンパス	放射線とは何だろうか？	續　輝久 大喜雅文 平田秀紀 佐々木雅之 百島則幸 古市正人 甲斐倫明 神谷研二	身近なところに存在する「放射線」並びに「放射性同位元素」に対する理解からスタートし、主として医科学系の応用に重点をおいて講義を構成します。これまであまり学ぶ機会がなく、主にマスメディアからの受身的な「放射線に対する理解」を基に判断することが多かったと思います。東日本大震災に伴う東京電力福島第一原子力発電所からの放射線・放射性物質の大量放出・拡散事故を受けて、今後、如何にして「放射線」並びに「放射性同位元素」と向き合うのか等を含めて科学的に考える契機となるように、話題を提供します。	学部生	特になし	各大学 5人（他大学枠を20人と設定し、この枠内で調整	2	集中 ［9月1日（火）～4日（金）］	7月下旬予定	9月1日	課題レポートにより成績評価
8		基幹教育院 九州大学農学部附属農場	体験的農業生産学入門	○望月俊宏 尾崎行生 中野　豊 酒井かおり 安彦友美	本講座では、作物（イネおよび園芸作物）や家畜（牛やニワトリ）などを対象に農業生産の実際および食品加工を体験すると共に、その基盤となる理論、農業生産と環境（保全）との関係や食物の安全性などについて学習する。 農学部附属農場（福岡県糟屋郡粕屋町および篠栗町）において、2泊3日の宿泊集中実習・講義を実施する。	学部1・2年生	特になし	10名	1	夏季集中	7月13日	9月16日～9月18日（2泊3日）	試験は行わない。 経費として4、000円（宿泊費および食費）必要。
9		文学部 箱崎文系地区	人文学Ⅰ	森平雅彦 川本芳昭 宮本一夫 佐伯弘次 中島楽章 山内昭人 高木彰彦 岩﨑義則 井手誠之輔 南澤良彦 下地理則 久保智之	現代社会では地球規模のグローバル化が進み、人びとの活動範囲を規定してきた国家や人種・民族といった枠組みが相対化される一方、異なる文化・価値観をもつ人間どうしの摩擦もめだってきている。日本もまた過去の歴史に対する認識、国家間の権益対立、国境をこえたヒト・モノ・情報の動きをめぐり、身近な周辺地域との間でさまざまな課題をかかえている。わたしたちはいまあらためて、身近な「他者」について知り、「他者」との関係性のなかでの「自己」の位置をみつめなおすべき段階にきている。 この授業では，日本とその身近な周辺地域をあわせた空間を便宜的に「東アジア」とよぶが，その見え方は視点・論点のとりかた次第でいかようにも変わってくる。しかし大切なのは，そのような見方の多様性を認識し、みずからも必要に応じて自由自在にさまざまな視点へシフトして物事を考える能力・姿勢である。 このように柔軟で複眼的な「東アジア」へのアプローチは，アジアに開かれた九州大学の人文学において，主要な柱のひとつとなるものである。	学部2年～4年	なし	10人	2	後期毎週水曜2限（10:30～12:00）	10月7日	10月7日	期末試験は実施しない。（レポート提出有り）
10		文学部 箱崎文系地区	人文学Ⅱ	片岡啓 円谷裕二 清水和裕 後小路雅弘 京谷啓徳 辻田淳一郎 静永健 鵜飼信光 高野泰志 飯嶋秀治 今里悟之 山下亜紀子	生まれ、そして、死ぬ。外から見れば、一つの生命が誕生し、そしていずれ死にゆく、それだけの問題なのかもしれません。冷めた視線で見ればそうでしょう。しかし「生と死」は、そのような客観的な対象として問題なのでしょうか。時に「生と死」は、一人一人が孤独の中で対面する、逃げられない問題として襲いかかってくることがあります。「生老病死」「生死事大」、古今の聖賢が主体的にこの問題に取り組み、様々な見方を我々に残してくれています。文学部の教員は、この普遍的でしかも個人的なテーマにどう答えるのでしょうか。哲学者は何を問い、何を答えるのでしょう。文学において「生と死」はどのように提示されてきたのでしょうか。宗教はこの悩みを果たして解決してくれるのでしょうか。そして美術は「生と死」をどのように具象化してきたのでしょうか。文学部の哲学コース、歴史学コース、文学コース、人間科学コースから選りすぐられた精鋭講師陣がガイドとなって世界の時空を皆さんとともに巡ります。	学部2年～4年	なし	10人	2	後期毎週水曜2限（10:30～12:00）	10月7日	10月7日	期末試験は実施しない。（レポート提出有り）
11		芸術工学部 大橋キャンパス	構法設計論	○井上　朝雄 松村　秀一 小見　康夫 腰原　幹雄 石山　央樹 村上　心 西原　守	建築物の構成方法について学ぶ(応用編)	学部3年以上	建築の基礎的な知識があること	特になし	2	前期集中講義 土曜日に複数回に分けて開講	4月2日	未定（詳細は九州大学芸術工学部学務課教務係に確認すること）	期末試験は実施しない。レポートによって成績をつける。

No.	開講大学	開講部局 開講場所	科目名	担当教員	内容	対象者	履修条件	受入可能人数	単位	開講形態 集中・土日開講等	申込締切等	授業開始日	試験日
12	九州大学	芸術工学部 大橋キャンパス	環境総合プロジェクト	○田上健一 鵜飼哲矢 大井尚行 井上朝雄 包清博之 朝廣和夫 岸泰子 土居義岳	福岡・九州・アジアが抱えているさまざまな課題に、海外の学生や留学生と協同として取り組み、チーム作業を通して解決策を導きだし、これからの次代の「環境設計」を提案する。	学部4年	建築・都市・ランドスケープデザインの専門的な知識と技術があること。 また、海外の学生と意思疎通をはかれる語学力があることが望ましい。	特になし	4	前期開講 曜日は未定	4月2日	未定（詳細は九州大学芸術工学部学務課教務係に確認すること）	期末試験は実施しない。講評会での発表によって成績をつける。
13		芸術工学部 大橋キャンパス	建築生産	○井上　朝雄 松村　秀一 遠藤　和義 秋山　哲一 浦江　真人 角田　誠	建築を生産するシステムについて学ぶ(入門編)	学部3年以上	建築の基礎的な知識があること	特になし	2	後期集中講義 土曜日に複数回に分けて開講	9月18日	未定（詳細は九州大学芸術工学部学務課教務係に確認すること）	期末試験は実施しない。レポートによって成績をつける。
14		芸術工学部 大橋キャンパス	ソフトウェアアーキテクチャ	高木英行	ウォータフォールモデルを例に、ユーザ要求仕様、システム設計、ソフトウェア設計、レビュー、コーディング、単体／結合テスト等のソフトウェア開発の流れと各工程の手法とソフトウェア品質の重要性を理解する.	学部2年生以上	■プログラミングを行うわけではないが、C言語を例に解説することが多いので、「プログラミング言語」関係の授業で事前にC言語をよく履修しておくことが望ましい. ■3人チームで演習をし、期末レポートを作成するので、途中で履修放棄する可能性のある学生は履修しないこと	5名程度	2	後期月曜2、3限 10:30～14:30 ＊時間割変更の可能性あり	9月18日	10月5日	2月上旬予定
15		農学部 水産実験所 （津屋崎）	アクアフィールド科学実習	吉国通庸 及川　信 鬼倉徳雄	野外での生物採集と実験室内での種同定作業を通して、海洋構造と生物多様性との関連性を学ぶ。干潟、河口域、砂浜域、浅海域の生物相の相違や特徴を理解するとともに、魚類、甲殻類等の分類学基礎を押さえる。	学部3-4年生	3泊4日の宿泊が可能なこと. 野外での生物採集等の活動が可能なこと.	3-5人	1	集中＊ （夏季休業中の3泊4日、9/9-12を予定）	7月1日	9/9予定	期末試験は実施しない。レポートあり。
16		大学院 地球社会統合科学府 伊都キャンパス	地球社会フィールド調査法	オムニバス形式	調査計画の立案と実施方法、資料（史料、試料）・文献収集、実験・社会調査データ収集、調査研究上の倫理、調査結果の社会的還元方法、リスクマネジメントなど、様々なフィールドで調査するための基本を講義する。	学部3・4年生、修士課程学生	なし	10名	1	後期 隔週水曜日 5限目 （16:40-18:10）	10月9日	10月14日	出席とレポートにより評価する。
17		大学院 歯学府 馬出キャンパス	硬組織研究法	久木田　敏夫	硬組織の形成や再建・再生に関する研究を行う為には、組織学・解剖学・発生学という形態学の知識はもちろんのこと、免疫学、分子生物学、細胞生物学、血液学等の幅広い知識や生体イメージング等、関連する技術開発についての理解も必要である。本講義は骨代謝研究や再生医学研究、及び関連する技術開発領域の第1線で活躍している著名な研究者による特別講義で構成されている。本講義は、歯学研究に於いても重要な意味を有する「骨代謝・硬組織再生研究」に関する最先端の情報を提供することを目的とする。それぞれの研究が様々な方法論を駆使して行なわれていることを学ぶことにより、硬組織研究を遂行する為の基本的な研究能力の開発に繋がるものと考えられる。また、本講義を受講する事により、硬組織研究に限らず、将来、広くライフサイエンス研究の第一線で活躍することのできる潜在的能力を身につけることができる。	大学院生	特に定めない	特に定めない	3	集中	5月15日	6月 詳細未定	試験は実施しない
18		大学院 システム 生命科学府 箱崎・馬出・伊都キャンパス（遠隔授業有）	生命情報工学通論	久原　哲 岡本　正宏 内田　誠一 田代　康介	生命科学系の大学院生にとって有用な生命情報・生命工学系の基礎的な事項（情報、シミュレーション、画像処理など）の概要を理解する。	生命系学部出身大学院生	無し	10人	2	前期前半 （4月～6月） 毎週水曜日 2時限連続授業 （3・4限）	4月10日	4月15日	授業の進行状況により受講生へ通知する

No.	開講大学	開講部局 開講場所	科目名	担当教員	内容	対象者	履修条件	受入可能人数	単位	開講形態 集中・土日開講等	申込締切等	授業開始日	試験日
19	九州大学	大学院 システム 生命科学府 箱崎・馬出・伊都キャンパス（遠隔授業有）	生命科学通論	仁田坂　英二 中條　信成	高校生物学から大学初年次レベル程度の講義を行う。生物学の基本的な事項についてミクロからマクロレベルまで幅広く講義を行う。	情報・工学系学部出身大学院生	無し	１０人	2	前期前半 （4月～6月） 毎週火曜日 2時限連続授業 （2・4限）	4月10日	4月14日	授業の進行状況により受講生へ通知する
20		留学生センター 箱崎キャンパス	Japan in East-Asia: the Dynamics of Politics and Society	バンオーベルベケ・ディミトリ （レウヴェン・カトリック大学・教授）	The purpose of the course is to familiarize students with scientific tools and concepts to understand, describe and analyze East-Asia both in the context of transnationalization and globalization and also to make them familiar with recent developments in regional cooperation in Asia. This course will focus first on regionalism in East-Asia and second on recent political developments in Japan in a global context.	学部生・大学院生	英語での授業 TOEFL530以上	若干人	2	前期 集中 （3限または2限） 6/24～7/10 HP要参照 (www.isc.kyushu-u.ac.jp/atw/courses.htm)	6月5日	6月24日	7月10日
21		留学生センター 箱崎キャンパス	Death in Traditional Japanese Literature in the Asian Context	ピニングトン・ノエル （アリゾナ大学・准教授）	This is a survey of the literary treatment of death and killing in the Japanese tradition from the 7th to the 18th centuries. The course is both a chronological introduction to the literary tradition and an investigation of Japanese conceptions of death, with particular attention paid to origins in mainland culture and contrasts with that culture.	学部生・大学院生	英語での授業 TOEFL530以上	若干人	2	前期 集中 （3限または2限） 6/24～7/10 HP要参照 (www.isc.kyushu-u.ac.jp/atw/courses.htm)	6月5日	6月24日	7月10日
22		留学生センター 箱崎キャンパス	Development in Asia and a Globalizing World	中　恭 （元UNDPニューヨーク本部アジア太平洋地域局次席）	This course aims to provide a better understanding of “development” by critically analyzing the history of development, the current global changes including MDGs and the post 2015 development agenda. It examines the past and present practices of bilateral aid (including Japan and OECD-DAC countries), multilateral cooperation through the UN system and the emerging South (e.g. BRICS). It also reviews the roles of the private sector, NGOs and civil societies in development.	学部生・大学院生	英語での授業 TOEFL530以上	若干人	2	前期 集中 （3限または2限） 7/21～8/7 HP要参照 (www.isc.kyushu-u.ac.jp/atw/courses.htm)	6月5日	7月21日	8月7日
23		留学生センター 箱崎キャンパス	Aging, Generations & the Life Course in East Asia: A Sociological Introduction	肥後　裕輝	This is a sociology course to introduce contemporary East Asia with a special focus on Japan through the lens of age, generations, and the life course from cross-cultural and global perspectives. This course overviews the ways in which some selected East Asian societies and cultures shape and reshape individuals’ experiences of growing older, of life course transitions, and of intergenerational relations in daily lives in the context of rapid population aging.	学部生・大学院生	英語での授業 TOEFL530以上	若干人	2	前期 集中 （3限または2限） 7/21～8/7 HP要参照 (www.isc.kyushu-u.ac.jp/atw/courses.htm)	6月5日	7月21日	8月7日

No.	開講大学	開講部局 開講場所	科目名	担当教員	内容	対象者	履修条件	受入可能人数	単位	開講形態 集中・土日開講等	申込締切等	授業開始日	試験日
24	西南学院大学	ー	新約神学C	須藤　伊知郎	【授業の到達目標及びテーマ】 新約神学は、予め伝統的な教義を前提とし旧新約聖書全体に矛盾のない統一的な一つの神学を見出そうとするのではなく、新約聖書独自の神学、さらに新約各文書に見られる多様な諸神学を明らかにしつつその中心的な使信を探究することを目的とする。各文書が成立した状況の中で伝承の担い手、また編集者がイエスの福音に促されて何を選び取りどう行動したかということを歴史的、批判的に検討することを通じて、無時間的普遍的に妥当するいわゆる「真理」ではなく、個別的一回的状況の中へと語られた、受肉した神の言葉を追及する。 【授業の概要】 本年度前期はG. タイセン／A. メルツ『史的イエス』の前半を教科書にして、史的イエスを扱う予定。教科書と参考書を輪番で要約発表しクラス全体で討議する。 【準備学習等についての具体的な指示】 毎回教科書の該当部分を熟読し、積極的に討議に参加すること。 【各回ごとの授業内容】 1. はじめに／2.「1 イエス伝研究史」／3.「第1部　資料とその評価　2 イエスに関するキリスト教資料」(1)／4. 同 (2)／5.「3 イエスに関する非キリスト教資料」(1)／6. 同 (2)／7.「4 資料の評価」(1)／8. 同 (2)／9.「第2部　イエスの歴史の枠　5 イエスの生涯の時代史的、宗教史的枠」(1)／10. 同 (2)／11.「6 年代的枠」「7 地理的、社会的枠」／12.「8 霊能者としてのイエス」(1)／13. 同 (2)／14. 「9 預言者としてのイエス」(1)／15.同 (2)	3年次以上	特になし	3名	2	週1回 前期 火曜 2時限目 （11：10～12：40） 90分×15回	4月2日	4月7日	成績は、期末試験、発表・討論などの参加等で総合的に評価する。
25		ー	新約神学D	須藤　伊知郎	【授業の到達目標及びテーマ】 新約神学は、予め伝統的な教義を前提とし旧新約聖書全体に矛盾のない統一的な一つの神学を見出そうとするのではなく、新約聖書独自の神学、さらに新約各文書に見られる多様な諸神学を明らかにしつつその中心的な使信を探究することを目的とする。各文書が成立した状況の中で伝承の担い手、また編集者がイエスの福音に促されて何を選び取りどう行動したかということを歴史的、批判的に検討することを通じて、無時間的普遍的に妥当するいわゆる「真理」ではなく、個別的一回的状況の中へと語られた、受肉した神の言葉を追及する。 【授業の概要】 本年度後期はG. タイセン／A. メルツ『史的イエス』の後半を教科書にして、史的イエスを扱う予定。教科書と参考書を輪番で要約発表しクラス全体で討議する。 【準備学習等についての具体的な指示】 毎回教科書の該当部分を熟読し、積極的に討議に参加すること。 【各回ごとの授業内容】 1.「第3部　イエスの活動と宣教　10 癒し手としてのイエス」／2.「11 詩人としてのイエス」(1)／3.「11 詩人としてのイエス」(2)／4.「12 教師としてのイエス」(1)／5.「12 教師としてのイエス」(2)／6.「12 教師としてのイエス」(3)／7.「第4部　受難と復活　13 祭儀創始者としてのイエス」(1)／8.「13 祭儀創始者としてのイエス」(2)／9.「14 殉教者としてのイエス」(1)／10.「14 殉教者としてのイエス」(2)／11.「15 復活者としてのイエス」(1)／12.「15 復活者としてのイエス」(2)／13.「16 史的イエスとキリスト論の起源」(1)／14.「16 史的イエスとキリスト論の起源」(2)／15.まとめと期末試験	3年次以上	特になし	3名	2	週1回 後期 火曜 2時限目 （11：10～12：40） 90分×15回	4月2日	9月15日	成績は、期末試験、発表・討論などの参加等で総合的に評価する。

No.	開講大学	開講部局 開講場所	科目名	担当教員	内容	対象者	履修条件	受入可能人数	単位	開講形態 集中・土日開講等	申込締切等	授業開始日	試験日
26	西南学院大学	―	コミュニケーション概論B	清宮　徹	私たちの身近な日常生活から政治、経済、社会、国際関係にいたるまで、コミュニケーションはあらゆる場面に見つけることができる。コミュニケーションという言葉はこのようにいろいろなところで使われ重要視されているが、日ごろの社会生活や経営組織、ビジネスの領域においてコミュニケーション自身を注意深く探求することはなかった。 そこで本講座では、“コミュニケーション的視点”から人々の社会生活と組織、そして国際社会における常識(当たり前)を考察する。つまり、今まで常識としていたことがどのようにして形成されてきたか、社会的・文化的コンテクスト(文脈状況)の中で意味が形成・変化する点を明らかにしていく必要がある。常識の中で見落としていた何か、ゆがめられた何かがあるかもしれない。2011年3月11日に発生した震災以降、人々が疑わなかった当たり前が大きく崩れ、今あらためて人々がコミュニケーションを通じて作り上げる世界を考察しなくてはならない。 受講対象者として幅広い学生(社会科学系から文学系まで)を視野に入れ、とくにヨーロッパで今最先端の言語的な視点をもとに、組織とビジネス・社会のコミュニケーションを検討することを目的とする。本講座は以下のようなトピックを扱い、ヨーロッパ最新のポストモダン的な視点から言語(ディスコース)的アプローチで社会のコミュニケーション問題を考察していく。 授業は全体として講義形式が主体となるが、積極的なディスカッションも多く取り入れ、みんなでともに考える授業にしていきたい。したがって、受講者の積極的参加を重視する。このような活動を通して、多様な立場・価値観の違いを理解し、現代社会の多様なコミュニケーション問題に対する認識・洞察力を深めていく。とくに、いままで当たり前と思っていた領域に、もう一度批判的目を向けてもらいたい。Communication to Change the World	2年次以上	特になし	10名程度	2	週1回 後期 水曜2時限目 (11:10～12:40) 90分×15回	4月2日	9月16日	本学後期試験期間中(1月27日の予定)に行い、他に2ページ程度のレポート
27		―	コミュニケーション学基礎演習B(研究法)	清宮　徹	コミュニケーション学基礎演習B(研究法)では、3年次から履修するコミュニケーションの専門科目やコミュニケーション関連の演習(ゼミ)に必要な研究法を学ぶことを目的とする。コミュニケーション関連の演習(清宮ゼミを含む)では、この科目を履修している学生を優先的に許可することがあるので、4年次にコミュニケーション関係のゼミを希望している学生は、この科目を履修することを強く薦める。具体的な学習目標は以下の通りである。 1. コミュニケーションに関する文献調査・検索方法を学び、先行研究をまとめる。 2. コミュニケーション研究に必要な研究法(データ収集と分析)について学ぶ。 ア)記述式アンケートによるデータ収集　イ)インタビューによるデータ収集 ウ)観察・ﾌｨｰﾙﾄﾞﾜｰｸによるデータ収集　　エ)内容分析　オ)会話分析法 カ)テキスト分析　キ)ディスコース分析法 ＊研究法の中には定量的調査方法があるが、ここではとくに定性分析(質的データ分析)を重点に置く。 3. 学んだ研究法を実際に使ってみて、研究法を体得する。 ＊質的データの収集と分析、記述式アンケートの分析など、実際に行う。	2年次以上	特になし	10名程度	2	週1回 後期 水曜3時限目 (13:30～15:00) 90分×15回	4月2日	9月16日	本学後期試験期間中(1月27日予定)に行い、他にインタビュー分析レポートと先行研究リストのレポート
28		―	英語史A	久屋孝夫	英語の歴史1500年のうち前半の1000年の歴史を概観する。欧州大陸に居住していた話者数万の西ゲルマン語派のひとつだった言語が5世紀半ばにブリテン島に移住する ようになって、エリザベス一世を統治者として擁する国家を 形成するようになるまでの、紆余曲折を学ぶ。中でも英語の性格を変えるきっかけになった大きなきっかけとして挙げ られるのは、8世紀末から10世紀初めのバイキング(北ゲルマン語派古代ノルド語の使い手)の侵攻、および11世紀後半のノルマン(9世紀にフランスに定住して公国を作った元バイキングでノルマンフランス語の使い手)の支配である。バイキングは古代英語の語尾を水平化するのに貢献 し、ノルマンは英語語彙のゲルマン的要素をフランス語化するのに成功した。その結果、起源的には同じながら、現代英語は現代ドイツ語とはかなり異なる屈折語尾の著しく少ない、かつラテン語の語彙を多く含む同義語の豊富な言語となった。	3年次 以上	特になし	10名	2	週1回 前期 水曜3時限目 (13:30～15:30) 90分×15回	4月2日	4月8日	成績は、確認テスト、レポート、討論などの参加等で総合的に評価する。

No.	開講大学	開講部局 開講場所	科目名	担当教員	内容	対象者	履修条件	受入可能人数	単位	開講形態 集中・土日開講等	申込締切等	授業開始日	試験日
29	西南学院大学	―	英語史B	久屋孝夫	アメリカ英語の成長とグローバル英語の隆盛を欧米近現代 史と近代英語の辿った足跡を通して学ぶ。イギリスが16世紀末以降、欧州における覇権争いに勝利していく中で、獲得されていった大英帝国の植民地とされた世界の多くの国々で支配者の言語として、また必要悪としての公用語として、多様な種類の英語が誕生する過程に焦点 を当てる。また英国自身が、市民革命、産業革命、社会格差を経て近 代化していく中で、さまざまな新たな表現を生み、変化していくようすを観察する。	3年次 以上	特になし	10名	2	週1回 後期 水曜3時限目 （13:30～15:00） 90分×15回	4月2日	9月16日	成績は、確認テスト、レポート、討論などの参加等で総合的に評価する。
30		―	英語学研究A	久屋孝夫	regional dialects(地域によって異なる英語の姿); style/mode(対人関係や場面によって異なる英語の姿); sexist language(性差別と言語のつながり); words and represetation(ことばは現実をどれだけ中立的に描写できるか)など社会言語学を中心とするトピックを扱う。	3年次 以上	特になし	10名	2	週1回 前期 月曜2時限目 （10:40～12:10） 90分×15回	4月2日	4月13日	成績は、確認テスト、レポート、討論などの参加等で総合的に評価する。
31		―	英語学概論A	久屋孝夫	英語をそれが使用される言語外の諸要素(社会、文化、歴 史)との関連で考察し、情報交換役割以外の幅広い言語の 機能についての基礎知識を得る。【授業の概要】トピックを 3領域にしぼり、それぞれのトピックに関して5回ずつ講義 していく。【授業計画/各回ごとの授業内容】【第1回～第5回】(1)言 葉遊び(ルイス・キャロルのAlice's Adventure in Wonderland 不思議の国のアリス)【第6回～第10回】(2)英語語彙の特 色(語のルーツ探索、特定領域の語彙ネットワークの通時 的体系)【第11回～15回】(3)婉曲語法(euphemisms)、言 い換え(political correctness)、差別と言語(racism, sexism)【各トピックについて課題提出を求める。】	2年次 以上	特になし	10名	2	週1回 前期 月曜3時限目 （13:00～14:40） 90分×15回	4月2日	4月13日	成績は、確認テスト、レポート、討論などの参加等で総合的に評価する。
32		―	言語学B	久屋孝夫	「時空間軸に沿って眺める言語の創造性・柔軟性～変化('偏流')と変化型の普遍性について～」と題して、英語と日本語を中心として、時間軸に沿った普遍的な言語変化現象に焦点化して分析する。言語変化はことばが生きている証拠であり、それゆえに「言語の偏流(drift)には方向性がある。一定の方向に動く個人的変異だけが偏流を具現化する。それはあたかも入江のなかの一定の波の動きだけが潮流の輪郭を示すのに似ている。」(エドワード・サピア) トピックは以下の4点。1) 統語変化[文法化]現象を視る 【1回目～4回目】、2) 意味変化現象[変化の型]を視る【5回目～8回目】、3) 音韻変化現象[変化の型]を視る【9回目～11回目】、4) 語創造 coinage of notions/words現象を視る 【12回目～15回目】【各トピックに関して課題提出を求める。】	3年次 以上	特になし	10名	2	週1回 後期 火曜4時限目 （15:10～16:40） 90分×15回	4月2日	9月15日	成績は、確認テスト、レポート、討論などの参加等で総合的に評価する。
33		―	フランス語アトリエ(8)	J. -L. アズラ	この授業の目的は、様々なテーマの平易な文章をフランス語で読むことを通して、フランス社会・文化について知ることである。文章のテーマは、学校と教育システム、政治、仕事と雇用、宗教、カップルと家族構成などである。授業はフランス語と日本語を使って進められる。教材はフランス語であるが、学生は日本語で発表や発言をしてもよい。この授業で学ぶ内容は、ヨーロッパの他の国について学んだり、考えたりする際にも役立つ。	3年次以上	中級レベルのフランス語力があること。 教科書Jean-Luc Azra e. a, "La Societe francaise" (Alma, 2008) を購入すること。	5名	2	週1回 後期 月曜3限目 （13:00～14:30） 90分×15回	4月2日	9月14日	成績は、出席点・平常点（授業時間中の小テスト）・期末テストを行い、総合的に判断する。

No.	開講大学	開講部局 開講場所	科目名	担当教員	内容	対象者	履修条件	受入可能人数	単位	開講形態 集中・土日開講等	申込締切等	授業開始日	試験日
34	西南学院大学	ー	フランス語基礎会話I(2)	J. -L. アズラ	この授業は前期に、週に2回、全30回行われる。この授業では、「Conversations dans la classe BASIQUE」という教科書を使用する。この教科書は、初級レベルのフランス語学習者が会話を学ぶためのものである。教科書の各課は、会話のテーマ(趣味、最近の出来事など)、会話に必要な語彙、文型、会話のコツなどで構成されている。 授業の目的は、フランス語を使って口頭で自己表現ができるようになることである。授業では、参加する学生全員が日常的な話題の会話をフランス語らしい会話の仕方で実践して行く。授業は大きく二部に分けられる。 (1)会話の準備：その日の会話のテーマに必要な新出語彙と文型の導入及び練習 (2)会話練習と会話テスト：学んだことを使って会話する 以上の他に、会話を行うのに必要な基礎的なフランス語力を養成する目的で、語彙や文章構造などの小テストも行う。	1年次以上	フランス語入門レベルまたは初級レベル。 教科書Conversations dans la classe BASIQUEを購入すること。	5名	4	週2回 前期 火曜1限目 （9：00～10：30） 木曜1限目 （9：00～10：30） 90分×30回	4月2日	4月7日	試験なし。成績は、出席点・平常点（会話テスト、語彙などのテスト）から総合的に判断する。
35		ー	フランス語基礎会話II(1)	J. -L. アズラ	授業の目的は、フランス語を使って口頭で自己表現ができるようになることである。授業では、参加する学生全員が日常的な話題の会話をフランス語らしい会話の仕方で実践して行く。 授業は二部に分けられる。 (1)会話練習：その日のテーマに関して、会話を行う。まず、会話に必要な新出語彙と文型の導入及び練習を行い、次に、会話練習と会話テストを行う (2)発音、聞き取り、フランス語文を声に出して読む	1年次以上	フランス語基礎会話I(2)を前期に履修すること。	5名	2	週1回 後期 木曜3限目 （13：30～15：00） 90分×15回	4月2日	9月17日	試験なし。成績は、出席点・平常点（会話テスト、語彙などのテスト）から総合的に判断する。
36		ー	メディア・フランス語	J. -L. アズラ	授業の目標は以下のとおり。 (1) ウェブ上のツールをフランス語で使えるようになること(検索エンジン、オンライン事典・辞書、自動翻訳ツール) (2) ウェブ上のフランス語メディアについて知ること(新聞、テレビ、各種専門サイト) (3) フランス語を使用し、フランス語能力を伸ばすこと	3年次以上	中級レベルのフランス語力があること。	5名		週1回 後期 月曜4限目 （14：40～16：10） 90分×15回	4月2日	9月14日	試験なし。成績は、出席点・平常点（小テスト、授業中の作業）から総合的に判断する。

No.	開講大学	開講部局 開講場所	科目名	担当教員	内容	対象者	履修条件	受入可能人数	単位	開講形態 集中・土日開講等	申込締切等	授業開始日	試験日
37	西南学院大学	ー	西洋文学A(1)	武末 祐子	＜授業の到達目標およびテーマ＞ ―痕跡をめぐって― 私達の世界は痕跡だらけだ。文学も建築も彫刻も絵画も音楽もすべて痕跡として読み解くことはできないか。ギリシア神話の英雄は英雄の痕跡を、怪物は怪物の痕跡を残した。それらは美しい自然でもある。古代ローマの繁栄は世界遺産として残されている。これらの痕跡を観察すると物語が見えてくる。一つの痕跡から無限の物語が紡げないか。アルファベットで書かれた物語本は、我々を異世界、異文化、異次元に運ぶ。しかしアルファベットを知らない人にとっては、美しい装飾にすぎない。絵画に描かれた人物は確かに歴史を喚起する。しかし、究極、それは単なる絵具の塊にすぎないではないか。この授業では、ギリシア神話、ヨーロッパの建築と絵画、フランス文学作品など広い領域から作品を集め、痕跡という考えを通して各芸術を楽しむ。 ＜授業の概要＞ 授業は講義形式で、授業担当者がギリシア神話、ヨーロッパの建築や絵画などを取り上げながらフランス19世紀文学、20世紀初めの芸術まで様々な作品を紹介しつつ解説する。プリント配布と映像資料(イメージ提示やDVDなど使用)によって進めていく。 ＜準備学習等についての具体的な指示＞ 予習のためにプログラムにある文学作品を読み、絵画作品は前もって観賞しておくことが望ましい。また、授業中は、積極的授業参加のためにコメントを書いて提出してもらうので、講義中に考えたことがあったら、書き留めておき、授業の最後に出席カードの裏に書いて提出する。 ＜各回ごとの授業内容＞ 1. 序論 2. オウィディウス「メドューサ神話」―ペルセウス― 3. オウィディウス「メドューサ神話」―サンゴ礁― 4. ピラネージ―古代ローマ遺跡とローマの風景― 5. シャルル・ペロー『サンドリヨン』 6. ゴーティエ『アリア・マルチェッラ』 7. ヴィクトル・ユゴー『ノートル・ダム・ド・パリ』―アナンケー 8. ヴィクトル・ユゴー『ノートル・ダム・ド・パリ』―ゴシック教会― 9. バルザック『村の司祭』―天然痘― 10. バルザック『村の司祭』―タシュロン― 11. エドガー・アラン・ポー『モルグ街の殺人』 12. ボードレール―現代生活の画家― 13. クロード・モネ―おとぎの国― 14. クロード・モネ―光の痕跡― 15. 結論	1年次 以上	特になし	10名程 度	2	週1回 前期 火曜3限目 (13:30～15:00) 90分×15回	4月2日	4月7日	試験なし 出席とレポートに よる評価

No.	開講大学	開講部局 開講場所	科目名	担当教員	内容	対象者	履修条件	受入可能人数	単位	開講形態 集中・土日開講等	申込締切等	授業開始日	試験日
38	西南学院大学	―	フランス食文化研究	武末 祐子	【授業の到達目標及びテーマ】 フランス料理は、2010年にユネスコ世界遺産の無形文化財に登録された。食の芸術(L'art du bien manger et du bien boire)といわれるフランス料理について昔と今、食材と産地、越境する技術といった視点を意識しながら学ぶ。農業国であり、美食の国であるフランスは、食材の豊かさと食卓の美を併せ持つ。人はなぜ、美味しく食べようとするのか。なぜ人をもてなそうとするのか。食文化の歴史と現在を理解しながら、フランスと地中海の国々の食文化の豊かさと食の知識を学ぶ。 【授業の概要】 この授業は、3つの部門からなる：フランス料理、フランス菓子などに関わる人々に、ゲストティーチャーとして来てもらい、講義をしていただく。参加する学生さんに国内・海外を問わず食に関する発表をしていただく。講義担当者がヨーロッパとフランスの食文化の歴史を紹介する。日本におけるフランス食文化の担い手であるプロの方々、学生さんの目線で捉える食文化の面白さ、食の国フランスの大きな歴史的流れ、という多角的視点による食のコミュニケーションの授業といってもよい。今年度は「なぜ食を語るのか」をテーマに、フランスの食文化を身近に感じ、日本の食文化との融合も楽しむ。 【準備学習等についての具体的な指示】 フランスの食文化に興味がある受講者は、「食べること」に興味があると思うので、ゲストティーチャーに対しては、積極的に質問をし、また考えていることを述べ、活発な授業参加をしてほしい。また、食についての取材や研究発表も募ります。 【授業計画(各回ごとの授業内容)】 (1)序論 (2)フランス料理1 (3)フランス料理2 (4)フランスのパティスリー1 (5)フランスのパティスリー2 (6)フランスのパン1 (7)フランスのパン2 (8)フランスの家庭料理1 (9)フランスの家庭料理2 (10)地中海料理1 (11)地中海料理2 (12)フランスのワイン1 (13)フランスのワイン2 (14)「なぜ食を語るのか」 (15)結論	2年次 以上	特になし	10名程 度	2	週1回 後期 金曜2限目 （10：40～12：10） 90分×15回	4月2日	9月18日	試験なし 出席とレポートに よる評価
39		―	情報処理応用IE(51)	田中　謙一郎	RやSPSSを用いてデータ分析の基本を説明し、情報処理センター実習を行う。	2年次以上	特になし	10名	2	週1回 前期 金曜2時限目 （9：00～10：30） 90分×15回	4月2日	4月10日	成績は、課題、出席点等で総合的に評価する。
40		―	演習Ⅰ(9)：持続可能な開発のための教育(ESD)の理論と実践	小出　秀雄	本演習では、持続可能な開発のための教育（ESD；Education for Sustainable Development）を解説したテキストを輪読するとともに、2～3名のグループによる研究成果を披露し合うことによって、現在起こっている環境・エネルギー問題を理解し対策を論じるのに必要な考察力、およびそれを「学内外の人にわかりやすく伝え・自ら実践する」能力を養う。教員と受講生の双方向のやりとりを通じて、有意義な議論の仕方や発表・司会の進め方、リポートの作成方法などを修得する。 なお、本演習は、西南学院大学教育インキュベートプログラム「福岡超大学環境ゼミナール」（～2015年度前期） <http://fukuokagakusai.com/fukuokanzemi/>の取組主体である。 〔テキスト〕西井麻美・藤倉まなみ・大江ひろ子・西井寿里編著『持続可能な開発のための教育（ESD）の理論と実践』（ミネルヴァ書房、2012年）／環境省編『環境白書　循環型社会白書／生物多様性白書』（毎年6月公表、<http://www.env.go.jp/policy/hakusho/>）	学部生（所属学部、学年は問わない）	環境・エネルギー問題およびESDをともに学び、実際に行動したい人の履修を歓迎する。	5名程度	4	週1回 通年 木曜2時限目 （11：10～12：40） 90分×30回 ほか、課外での活動もあり	4月2日	4月9日	平常点とリポートの内容に基づいて評価する。その内訳は、平常点60%、リポート40%とする。

No.	開講大学	開講部局 開講場所	科目名	担当教員	内容	対象者	履修条件	受入可能人数	単位	開講形態 集中・土日開講等	申込締切等	授業開始日	試験日
41	西南学院大学	―	国際協力論	野田　順康	本講義では、第一に政府開発援助、技術協力の方法、参加型開発等の国際協力の仕組みを理解する。第二に国際協力の仕組みを通じて食糧安全保障や環境問題等の地球規模の課題にどの様に取り組んでいくかを勉学すると共に、自分自身の今後の関わり方について議論・討論する。	2年次以上	国際協力及び英語に関心を有する者（授業は英語で行う）。	10名	2	週1回 前期 金曜3時限目 （13:00～14:30） 90分×15回	4月2日	4月10日	成績は、授業への出席状況、学習状況等を加味しつつレポート（50点）、テスト（50点）によって評価する。
42		―	国際開発論	野田　順康	本講義では、国際開発論の経緯及び開発をめぐる様々な考え方を理解した上で、経済開発及び社会開発の意義、また人口爆発と都市化や環境問題などの地球的規模の課題について学ぶ。さらに、国連のミレニアム開発目標の全体像を学習する。国際開発の基本的な考え方を理解することを目的とする。	2年次以上	国際開発及び英語に関心を有する者（授業の前半は英語で行う）。	１０名	2	週1回 後期 金曜3時限目 （13:00～14:30） 90分×15回	4月2日	9月18日	成績は、授業への出席状況、学習状況等を加味しつつレポート（50点）、テスト（50点）によって評価する。
43		―	外交史	山本　健	【授業の到達目標及びテーマ】われわれが生きているこの世界は、どのような形で成り立っているのだろうか。今の世界が今のような世界になっているのは、歴史的な結果である。だとすれば、現在を理解するためには、過去を知ることが不可欠ということになる。本講義では、世界の歴史を、国際社会の変容という観点から理解する事を目標とする。そして歴史の大きな変化の流れの中で現在を理解し、未来を展望してもらう事がこの講義のねらいである。単に昔のことを知るのではなく、今を知るための歴史を学ぼう。 【講義の概要】本講義では、外交を中心とした国際社会の変容を歴史的に概観する。とくに、国際社会における原則や制度がどのように生成され変化していったのかという点に注目しながら、現在の国際社会が構築される過程や現代国際社会の特徴を理解する。またそのような変化をもたらすきっかけとなった戦争がどのように起こり、戦後にどのような秩序が構築されたのかという点にも注目する。 講義は、大きく前半と後半に分かれる。前半では、ヨーロッパを中心とした国際社会の生成と変容を中心に話す。後半は、20世紀の国際関係の歴史を詳しく論じる。特に、第一次世界大戦、第二次世界大戦という二つの大戦争の後、冷戦と呼ばれる時代が始まり、われわれが生きる現在は、その冷戦が終わった後の時代だという歴史観を身につけてもらいたい。	2年次以上	国際関係に関心があること	10名程度	4	週2回 前期 月曜3限 （13:00～14:30）、 木曜3限 （13:30～15:00） 90分×30回	4月2日	4月9日	成績は期末テストと中間レポートによって評価する。
44		―	国際政治学	山本　健	【授業の到達目標及びテーマ】世界は、あるいは日本を取り巻く東アジアの国際情勢は今後どうなっていくのだろうか。多くの人が関心を持つ問題であろう。本講義は、時事問題を解説する授業ではない。むしろそこからは少し距離を置きつつ、国際政治学の様々な理論や思想を学ぶことを通じて、世界の見方を身につけることがこの授業の目的である。国際政治は、そして世界は、どのように理解することができるのだろうか。国際政治学の先人たちは、この大きな問題に取り組み、様々な見方を提起してきた。本講義は、その様々な見方＝理論を中心に、国際政治や戦争と平和について考えていく。様々な見方があるということは、国際政治(学)には、一つの確固たる理論や法則が存在するわけではない、ということを意味する。 様々な理論が存在する背景には、その背景に思想的な違いが存在すると同時に、世界そのものも変化してきているという事実が存在する。国際政治学は第一次世界大戦後に生まれ、主にアメリカとヨーロッパにおいて発展した比較的新しい学問であるが、歴史的変化の中で、理論も変化・発展してきた。それゆえ本講義では、国際政治学の先人たちによる知的格闘を、歴史的変化の中で理解することを目指す。 【講義の概要】国際政治学という学問がカバーする範囲は広い。それゆえ、本講義では戦争と平和、そして安全保障という問題をテーマの中心に据えて議論する。講義は第一部と第二部に分けておこなう。第一部では、国際政治学の二大潮流であるリアリズムとリベラリズムの様々な基礎理論と思想的背景について論じる。第二部では、冷戦後のアクチュアルな問題を国際政治の理論的観点から説明する。	2年次以上	国際関係に関心があること	10名程度	4	週2回 後期 月曜3限 （13:00～14:30）、 木曜3限 （13:30～15:00） 90分×30回	4月2日	9月14日	成績は期末テストと中間レポートによって評価する。

No.	開講大学	開講部局 開講場所	科目名	担当教員	内容	対象者	履修条件	受入可能人数	単位	開講形態 集中・土日開講等	申込締切等	授業開始日	試験日
45	西南学院大学	ー	中国文学概論A	新谷　秀明	【授業の到達目標およびテーマ】 テーマ：日中近代文学関係史――影響と衝突 　日本の文学や芸術は古来より中国大陸の影響を受けながら発展してきた。日本民族は元来、中国文化に敬意を払いながらそれを受け入れてきたが、近代以降、明治維新、日清・日露戦争、満州事変等を経るなかで、日本と中国の関係は逆転したと言ってよい。そして日中戦争が起こり、太平洋戦争へと突入し、やがて終戦を迎える。戦後70年が経ち、いま我々は新たな日中関係の時代を迎えている。グローバル化する国際社会の中で我々は隣国との関係をどのように築いていくべきなのか、という大きな問題をつねに見据えながら、この100年ほどの間の日中の関係を文学を通して考える。 【授業の概要】 　近代以降(中国では清末以降、日本では明治以降)を中心に、客観的な視点で日本と中国の文学関係を整理する。資料としては中国文学関係の資料が中心になるが、いっぽうで日本人の中国観を知る必要もあることから、日本文学側の資料も活用する。中国側の文献はできるだけ日本語に翻訳されたものを使用するが、やむを得ない場合は中国語原文も使用する。ただし受講者に中国語読解力を求めるわけではない。	2年次以上	特になし	10名	2	週1回 前期 月曜2時限目 （10：40～12：10） 90分×15回	4月2日	4月13日	成績は、レポートまたは筆記試験、出席点などで総合的に評価する。
46		ー	中国文学概論B	新谷　秀明	【授業の到達目標およびテーマ】 テーマ：日中近代文学関係史――植民地文学および戦時下の文学 　前期に続き、後期「B」では日中の文学関係を中心テーマとする。後期では特に、日中の文学関係を取り上げるときに無視できない日本植民地の文学に注目し、あわせて日中戦争期間の文学状況を補足的に講述する。ここで言う日本の植民地とは、当時「外地」と呼ばれた台湾・朝鮮にほかならないが、講義では特に日本植民地時代の台湾日本語作家について詳述する。また、傀儡国家であった「満州国」は植民地の形態を取ってはいなかったが、やはりここでも日本人主導による文学活動が行われていたので、植民地文学に類するものとして取り上げたい。 　台湾日本語作家の作品は、最近になってようやく資料が揃い始め、全体的に見ることが可能になった分野であり、これまでは日本文学側からも台湾文学(中国文学)側からも無視されてきた領域である。これらを文学史の中にどのように位置づけるべきなのか、それが私たちに課された課題であり、この講義の一つのテーマでもある。 【授業の概要】 1主要な台湾日本語作家の生い立ちを知り、主要な作品を講読する。 2満州国成立に関する状況を整理し、満州在住の日本人作家による主要な作品を講読する。また、満州在住中国人作家の作品を日本語訳で講読する。 3日中開戦後の日本文学界と中国文学界の動向を知る。特に日本文学報国会と大東亜文学者大会について詳述する。	2年次以上	特になし	10名	2	週1回 後期 月曜2時限目 （10：40～12：10） 90分×15回	4月2日	9月14日	成績は、レポートまたは筆記試験、出席点などで総合的に評価する。

No.	開講大学	開講部局 開講場所	科目名	担当教員	内容	対象者	履修条件	受入可能人数	単位	開講形態 集中・土日開講等	申込締切等	授業開始日	試験日
47	西南学院大学	ー	美学・芸術学A	森田　團	【授業の到達目標及びテーマ】 〈悲劇的なものの美学〉 　ヘーゲル以降の美学を悲劇的なものの概念を中心に追うことによって、近代においてなぜこれほど悲劇解釈が重要な意味をもったのかを明らかにすることを試みる。 【授業の概要】 十九世紀から二十世紀初頭の美学ないし芸術学における悲劇的なものの解釈を手掛かりに、近代人の自己理解にとってなぜギリシア悲劇ないし近代悲劇への問いが必要不可欠であったのかを本講義では明らかにしたい。 【準備学習についての具体的な指示】 各回に講義内容の要点をまとめたレジュメを配ります。講義のあとにレジュメとノートとを突き合わせ復習することが、次回の講義の準備となります。 【各回ごとの授業内容】 1. 序論――悲劇的なものとは何か 2. ドイツ観念論における悲劇的なものの解釈1 3. ドイツ観念論における悲劇的なものの解釈2 4. ドイツ観念論における悲劇的なものの解釈3 5. ニーチェの美学と悲劇解釈1 6. ニーチェの美学と悲劇解釈2 7. ニーチェの美学と悲劇解釈3 8. フォルケルトの『悲劇的なものの美学』1 9. フォルケルトの『悲劇的なものの美学』2 10. ルカーチの「悲劇の形而上学」1 11. ルカーチの「悲劇の形而上学」2 12. ベンヤミンの近代悲劇論1 13. ベンヤミンの近代悲劇論2 14. ハイデガーとギリシア悲劇1 15. ハイデガーとギリシア悲劇2	2年次以上	特になし	若干名	2	週1回 前期 金曜2限目 （10:40-12:10） 90分×15回	4月2日	4月10日	原則的にすべての講義（全15回）に出席し、コメントカードを提出することを単位認定の前提とする。筆記試験によって評価する。筆記試験に加えて、講義期間中に少なくとも一回の課題（レポート）の提出を求める。

No.	開講大学	開講部局 開講場所	科目名	担当教員	内容	対象者	履修条件	受入可能人数	単位	開講形態 集中・土日開講等	申込締切等	授業開始日	試験日
48	西南学院大学	–	社会心理学	柳澤　さおり	〔講義の概要〕【授業の到達目標及びテーマ】 社会心理学は，社会における個人や集団の行動を，その個人や集団が置かれた状況との相互影響から理解しようとする心理学の分野である。本講義では，具体的な事例や実験例，学生が事前に準備してきた課題の内容を基に，社会心理学の基礎知識を獲得することを目指す。 到達目標は以下の通りである。 (1) 社会心理学の基礎的な用語や理論について理解し，説明できる。 (2) 社会心理学に関わる実験や調査の結果を示した図や表が意味するものを読み取り，社会心理学の用語や理論に基づいて説明できる。 (3) 自分の体験や社会の出来事に関わる因果関係を，社会心理学の用語や理論を用いて説明できる。 【授業の概要】 授業では，各テーマの基本的な知識や考え方を講義する。事前に指定していた課題について発表を求めることもある。 【準備学習等についての具体的な指示】 シラバスに指定している教科書の部分をあらかじめ読んでおく事。また，授業中に指示された課題を準備しておくこと。 【各回ごとの授業内容】(　)内はキーワード 【第1回】<社会心理学の概要>（社会心理学の歴史と領域，研究法） 【第2回】<社会的認知(1)>（情報処理，印象形成，スキーマ，ヒューリスティック） 【第3回】<社会的認知(2)>（原因帰属） 【第4回】<自己>（自己概念，自己意識，自己開示） 【第5回】<態度(1)>（態度の要素，態度形成，説得効果） 【第6回】<態度(2)>（態度のバランス理論，認知的不協和理論） 【第7回】<社会的影響(1)>（同調，少数者影響） 【第8回】<社会的影響(2)>（権威への服従，影響力） 【第9回】<対人魅力>（対人コミュニケーション，類似性－魅力理論，単純接触仮説） 【第10回】<援助>（援助行動，傍観者効果） 【第11回】<攻撃>（攻撃行動，内的衝動説，情動発散説，社会的機能説） 【第12回】<集団(1)>（集団規範，凝集性，社会的手抜き，社会的促進） 【第13回】<集団(2)>（集団極性化，集団思考，リーダーシップ） 【第14回】＜マスコミュニケーション＞（強力効果論，限定効果論，オピニオンリーダー，　プライミング効果） 【第15回】まとめ 【テキスト】 「現代心理学入門〈4〉社会心理学」 安藤清志・池田 謙一・大坊郁夫（著）岩波書店 【参考書等】 「グラフィック社会心理学」 池上知子・遠藤由美（著） サイエンス社	2年以上	特になし	10名	2	週1回 前期 金曜3時限目 （13:00～14:30） 90分×15回	4月2日	4月10日	成績は，期末試験（70点，テキストやノート等の持ち込み不可）とレポート課題の成績（30点）による。

No.	開講大学	開講部局 開講場所	科目名	担当教員	内容	対象者	履修条件	受入可能人数	単位	開講形態 集中・土日開講等	申込締切等	授業開始日	試験日
49	西南学院大学		日本人の心理	中村　奈良江	【授業の到達目標及びテーマ】 The students will get why the Japanese behave like that in each topic. 【授業の概要】 This class will discuss “the knowledge of the Japanese mind” by studying current data. The student should attend all discussions in order to understand each topic. 【準備学習等についての具体的な指示】 The students must look up the meaning of words in the materials which will be given in advance prior to coming to class. Course outline 【1】Overview of Course,　Social Behavior I (collectivism and individualism) 【2】Social Behavior I 【3】Social Behavior II (“Honne” and “tatemae”) 【4】Guest speaker 【5】Social Behavior II (conformity) 【6】Social Behavior III (harmony, “giri” and “ninjou”) 【7】Properties of the Writing System’s Structure (way of learning “Kana” and “Kanji”) 【8】Word Meaning (Japanese particles; psychological differences between “wa” and “ga”, and between “wo” and “ga”) 【9】Exam. I 【10】Japanese Sense (speed and life style, time perspective) 【11】Culture and Image (learning by image, preference of asymmetry, color etc.) 【12】Japanese Child Development I (cognitive development, social interaction) 【13】Japanese Child Development II (cognitive development, social interaction) 【14】Exam. II 【15】Discussion	3年次以上	授業中のグループディスカッションに必ず参加すること。なお，授業は英語で行われる。	5名	2	週1回 前期 金曜1時限目 （9:00～10:30） 90分×15回		4月10日	成績は、確認テスト、レポート、討論などの参加等で総合的に評価する。
50			感情心理学	中村　奈良江	【授業の到達目標及びテーマ】 本講義は，「感情」という日常的に経験をし，理性に対応していると考えられている心の謎を解き明かすための入門である。心理学のすべての領域に関わってくる感情の研究や理論を学ぶことで，感情とはどういうものであるか，理性とどのように関連しているのかを理解することを目標としている。 【授業の概要】 基本的には講義形式であるが，簡単な実験を行うこともある。また積極的に討論に参加することが求められる。 【準備学習等についての具体的な指示】 講義で使用する資料は，Moodleを使って各自で入手し,予習・復習に利用すること。 【各回ごとの授業内容】 【第1回】 感情心理学とは 【第2回】 感情の生物学的基礎 【第3回】 感情の機能 【第4回】 感情認知と表情 【第5回】 感情と認知（知覚・イメージ） 【第6回】 感情と認知（注意） 【第7回】 感情と認知（記憶） 【第8回】 ディスカッション 【第9回】 感情と言語1 【第10回】 感情と言語2 【第11回】 感情の発達 【第12回】 感情と健康 【第13回】 感情と集団行動 【第14回】 ディスカッション 【第15回】 まとめテストおよびディスカッション	3年次以上	心理学概論を履修済みであること	10名	2	週1回 後期 金曜3時限目 （9:00～10:30） 90分×15回		9月18日	成績は，毎回の講義終了後に提出する感想シートと討論への参加程度（20点），およびMoodle上での提出課題の成績（10点），テスト(70点)による。

No.	開講大学	開講部局 開講場所	科目名	担当教員	内容	対象者	履修条件	受入可能人数	単位	開講形態 集中・土日開講等	申込締切等	授業開始日	試験日
51	中村学園大学	―	音楽の世界	原田　大志	世界の様々な音楽と，その音楽が引き起こす事象が，人間の営みとどのように結びついているか考える。	1年次以上	特になし	若干名	2	前学期 水曜1時限 (9:00～10:30) 90分×15回	4月2日	4月8日	H27.7.30～ H27.8.6 ※授業中に実施の場合もあり
52		―	九州経済事情	片山　礼二郎	九州の経済が今、どんな状況にあるのか？九州の成長産業はなにか？また、福岡が発展拡大してきた要因はなにか？という疑問に答える講義です。 実際、日本経済の中で九州がどれほどの地位にあり、どのような発展をたどってきたか、またその中で、どのような九州の企業が活躍してきたか、意外とわからないのではないでしょうか？ この講義では、そんな身近な経済に関する疑問を、新聞報道や過去のニュース映像をきっかけに、ツイッターなどを使いながら学生のみなさんと双方向でやりとりしながら、講義を進め、みなさんの九州経済、福岡経済に関する理解を深め、マーケットの将来性を判断するための視点について学び、身の回りの経済を見る目を養うことを狙いとしています。	1年次以上	特になし	若干名	2	前学期 木曜5時限 (16:35～18:05) 90分×15回	4月2日	4月9日	H27.7.30～ H27.8.6 ※授業中に実施の場合もあり
53		―	マスコミ論	田代　俊一郎	21世紀のマスコミは新聞、テレビ、ラジオ、出版など加え、ITメディアが巨大化してる。まさに現代人は情報の氾濫、洪水の中に身を置いている。劇的に変化する世界、社会環境の中、多様な情報を受け手としてだけでなく、自立した創造的な生き方にどう情報を活用していくか。メディアリテラシーの一環としてマスコミという「怪物」を一緒に考える。	1年次以上	特になし	若干名	2	前学期 水曜1時限 (9:00～10:30) 90分×15回	4月2日	4月8日	H27.7.30～ H27.8.6 ※授業中に実施の場合もあり
54		―	食の科学	安武　健一郎	日本人の食生活の「欧米化」は絶対悪であろうか？実は、欧米化によって悪くなった点がある一方で、良くなった点もある。それは、科学的データが証明している。科学的データをひも解くことは、どのような食生活が健康に良いのか、または悪いのかを知るヒントになる。本講義では、食の科学について様々な科学的データを紹介し、どのような食生活が健康に寄与するのかを、自分自身の食生活も振り返りながら考えてもらいたい。本講義を通して、病気になりにくい健康的な食生活を形成するための方策を、科学的データに基づきながら一緒に考えてみたい。	1年次以上	特になし	若干名	2	前学期 月曜1時限 (9:00～10:30) 90分×15回	4月2日	4月6日	H27.7.30～ H27.8.6 ※授業中に実施の場合もあり
55		―	体の科学	竹嶋　美夏子	ヒトの体は、生きていくために食物摂取、消化・吸収、血液の循環、呼吸、筋肉運動、成長、生殖、老廃物や熱の排出などいろいろな働きを行っている。これらが正常に働くことができなくなると様々な疾病を引き起こすことになる。そこで、正常なヒトの体のしくみや働きについて学ぶ。	1年次以上	特になし	若干名	2	前学期 水曜1時限 (9:00～10:30) 90分×15回	4月2日	4月8日	H27.7.30～ H27.8.6 ※授業中に実施の場合もあり
56		―	色彩の科学	手嶋　康則	本科目は、教育課程の「基礎教養」の科目として位置づけられ、栄養科学部、教育学部、流通科学部の各学科を対象とし、色彩の基礎知識を習得しながら3学科の特徴を考慮した授業構成となっており、幅広い色彩分野の知識を学び、色に関する興味をより一層高めてもらうことをねらいとしている。 さらに本科目を受講することで、色彩検定の資格取得の一助となることを目的としている。	1年次以上	特になし	若干名	2	前学期 月曜1時限 (9:00～10:30) 90分×15回	4月2日	4月6日	H27.7.30～ H27.8.6 ※授業中に実施の場合もあり
57		―	アートワールド	蒲池　昌江	本科目は、美術領域における知識を幅広く身につけるとともに、美術作品の鑑賞において言語表現能力やコミュニケーション能力を培いながら美的思考を養うことをねらいとしている。 本講座では、西洋美術、日本美術、アジア美術における表現の歴史や社会的背景を概観し、個々の作品についてディスカッション形式で作品を読み解いていく。さらに、それらの表現を通して現代社会においてアートがなしうる役割や可能性について考察する。	1年次以上	特になし	若干名	2	後学期 月曜1時限 (9:00～10:30) 90分×15回	4月2日	9月14日	H28.1.25～ H28.1.30 ※授業中に実施の場合もあり

No.	開講大学	開講部局 開講場所	科目名	担当教員	内容	対象者	履修条件	受入可能人数	単位	開講形態 集中・土日開講等	申込締切等	授業開始日	試験日
58		―	スポーツ文化	榊原　浩晃	本科目のテーマはスポーツ文化の面白さを知ることであり、スポーツが今日生活の質を豊かにし生きがいを見いだしていることに気づき、それらの歴史や文化的特徴を把握することをねらいとしている。	1年次以上	特になし	若干名	2	後学期 水曜1時限 (9:00～10:30) 90分×15回	4月2日	9月16日	H28.1.25～ H28.1.30 ※授業中に実施の場合もあり
59	中村学園大学	―	演劇の世界	岩井　眞實	本科目は、演劇がどのような芸術であるかを知り、その構造や技法について学ぶことで、演劇の豊かな世界にふれることを狙いとしている。また、日本の伝統芸能について理解することも目的の一つである。 授業では、教科書と映像資料を併用する。また、日本の現代演劇または伝統演劇を実際に観劇することを予定している。	1年次以上	特になし	若干名	2	後学期 水曜1時限 (9:00～10:30) 90分×15回	4月2日	9月16日	H28.1.25～ H28.1.30 ※授業中に実施の場合もあり
60		―	食の博多学	松隈　美紀	食の博多学の授業は、現在あなたが生活をしている博多（広い意味での福岡市内）で食べられている四季のふるさとの味、郷土料理などの歴史や言葉の意味、作り方や分量などを知ることで昔の人の食に対する考え方や、感謝の気持ち、地元の食材の知識や大切に使う心を養い、博多の食の魅力を自分の言葉で人に伝えられるようになることをテーマとする。	1年次以上	特になし	若干名	2	後学期 月曜1時限 (9:00～10:30) 90分×15回	4月2日	9月14日	H28.1.25～ H28.1.30 ※授業中に実施の場合もあり
61		―	アジア食文化事情	三成　由美　他	日本における食文化のあり方を世界的視野で見直し、東西の食文化の違いを理解し、また日本が属しているアジアの風土や食文化の特色を考え、各国、特に東アジア各国の食文化の独自性、共通性について理解を深める。 更に今後の発展の可能性を考察する。	1年次以上	特になし	若干名	2	後学期 水曜1時限 (9:00～10:30) 90分×15回	4月2日	9月16日	H28.1.25～ H28.1.30 ※授業中に実施の場合もあり
62		―	知的財産論	後藤　道子	今日、知的財産に対する意識の高まりやメデイアの多様化、デジタル化、ネットワーク化の進展に伴い、知的財産を法的に保護する知的財産制度に関する理解の必要性が増してきています。本講義では、知的財産に対する知的財産権に関する基礎的な知識を学び、関連する最新のニュースや裁判例など具体的な事例について検討しつつ、知的財産の創造、保護及び活用に関する問題に対応する力を養います。 　知的財産には技術的アイデア、ブランドマーク、物品のデザイン、音楽・アニメなどが含まれます。保護対象によって権利の保護法が異なるので、それらの基本的内容を理解し、知的財産権に関する問題をインターネット上での問題も含めて多角的な視点で捉えるきとができるようになることを目標とします。	1年次以上	特になし	若干名	2	後学期 木曜5時限 (16:35～18:05) 90分×15回	4月2日	9月17日	H28.1.25～ H28.1.30 ※授業中に実施の場合もあり
63		―	博多学	占部　賢志	古来から博多は九州の中心的な役割を果たしてきた地域であり、また、東アジアに開かれた玄関口として発展を続け、多くの歴史遺産、豊かな郷土文化が今日も受け継がれている。そこで当科目では、歴史、文化、産業、国際交流、生活、年中行事など学際的なテーマを設け、博多を中心に関係地域も視野に入れて人との関わり探求する。したがって、郷土再発見の目標に加えて、卒業後の地域社会に生きるうえでの教養科目としても位置づける。	1年次以上	特になし	若干名	2	後学期 月曜1時限 (9:00～10:30) 90分×15回	4月2日	9月14日	H28.1.25～ H28.1.30 ※授業中に実施の場合もあり
64		―	食品流通論	甲斐　諭	世界と我が国の食料経済、特に食料の生産・加工・流通・貿易が理解できるようにする。 食料価格の変動要因を知り、価格乱高下の要因は食料の供給不安定性と需要の価格弾性値が小さいことにあることを理解する。 生鮮食料品である青果物、鮮魚、食肉の主要流通経路と卸売市場の構造・機能および農産物直売所の存立理由を理解する。 貿易理論、需要の価格弾力性や所得弾力性等の経済学理論を用いて講義する。	3年次以上	特になし	若干名	2	後学期 火曜1時限 (9:00～10:30) 90分×15回	4月2日	9月15日	H28.1.25～ H28.1.30 ※授業中に実施の場合もあり

No.	開講大学	開講部局 開講場所	科目名	担当教員	内容	対象者	履修条件	受入可能人数	単位	開講形態 集中・土日開講等	申込締切等	授業開始日	試験日
65	福岡歯科大学	—	コミュニケーション・トレーニング	口腔保健学講座 口腔健康科学分野准教授 町田　弘幸	創造性・協調性・多様性理解など、円滑なコミュニケーションに必要ないくつかの方法を、実践を通して理解し、身に付ける。	1年次以上	特になし	若干人(各大学10人以内)	1	土曜日昼間 9-10月 240分（3コマ）×4日	7月	9月～10月	試験なし
66		—	福博の歴史と文化探訪	地域連携センター教授 永井　淳	この科目は我々が現在生活しているこの福岡・博多の地域について考え、知ることを目的とした講座である。福博の歴史と文化、自然などをさまざまな角度から考え、学んでいきたい。この講座で学んだことを通じて、現在から将来にわたって自分を取り巻く地域や社会とどのように関わり、貢献出来るのかについて考察する。	1年次以上	特になし	若干人(各大学10人以内)	1	・講義80分×3回 4/24.5/8.5/29の金曜5限（16：10～17：30） ・現地見学土曜×4回 （4/25は必ず出席すること。加えて、5/9、16、23の3回中2回以上は必ず出席すること）	4月18日	4月24日	試験なし
67	福岡大学	—	人間関係論	渡邉　淳一	組織における「人間関係」の重要性を認識し、より良い「人間関係」を構築することをテーマに、学外の専門の方々によるリレー講義です。キーワードは「人を育てる」と「コミュニケーション」です。	3年次以上	特になし	若干名	2	【前期】 水曜日2時限 (10:40～12:10)	4月4日 （土）	4月8日 （水）	試験なし
68		—	人的資源管理論	渡邉　淳一	現在の日本の企業で「人的資源管理」がどのように行われているかをテーマに、学外の専門の方々によるリレー講義です。キーワードは「人を育てる」と「モチベーション」です。	3年次以上	特になし	若干名	2	【後期】 水曜日2時限 (10:40～12:10)	4月4日 （土）	9月16日 （水）	試験なし
69		—	物理科学入門 （映像で学ぶ物理学Ⅰ）	寺田　貢	物理現象に関する映像を視聴し、その現象に関する法則や原理についてわかりやすく解説する。内容としては、アルキメデスの原理、摩擦力、力の分解、真空、水圧、てこの原理、ニュートンの運動の第一法則、放物運動、相対運動、運動量保存則、力学的エネルギー保存則、回転運動と角運動量保存則などである。	1年次以上	特になし	若干名	2	【前期】 火曜日4時限 (14:40～16:10)	4月4日 （土）	4月14日 （火）	7月27日（月） 1限
70		—	物理の世界 （映像で学ぶ物理学Ⅱ）	寺田　貢	物理現象に関する映像を視聴し、その現象に関する法則や原理についてわかりやすく解説する。内容としては、音速、光の性質：直進性、レンズの性質、共振現象、反射、熱と気体の性質、太陽エネルギー、物質の溶解度、静電気、電池、電磁石、電気の発生などである。	1年次以上	特になし	若干名	2	【後期】 火曜日4時限 (14:40～16:10)	4月4日 （土）	9月15日 （火）	【H28】 1月21日（木） 1限
71		—	スポーツ心理学	山口　幸生 下園　博信	スポーツ・運動行動と生理心理、認知と反応、運動学習と指導、社会心理、臨床心理、メンタルヘルスなどの関連性を学びながら、スポーツ心理学的視点に基づいてスポーツ・運動行動について、概論的に進める。	1年次以上	特になし	若干名	2	【後期】 水曜日1時限 (9:00～10:30) または 水曜日2時限 (10:40～12:10)	4月4日 （土）	9月16日 （水）	【H28】 1月22日（金） 3限
72		—	生涯スポーツ論	築山　泰典	「スポーツ=身体活動」といった認識が一般的かもしれないが、この授業での目標は「スポーツの社会的役割を考える」である。生涯スポーツという言葉は聞き慣れない言葉かもしない。そのため、「生涯スポーツとは何か？」から授業を始める。授業では、オリンピックに関する内容から展開を始める。その後、サービスとしてのスポーツを解釈しながら、スポーツの多様性を読み取ることを企図する。その後、近年アダプティッドスポーツと表現される障害者スポーツを題材に、誰のためのスポーツなのかを考える。授業後半では、レクリエーションやキャンプに関しての知見も深める。授業内では視聴覚教材を積極的に用いていく。また、毎回授業の最後にレポートを作成する時間を設け、提出を求める。この授業を通じて、スポーツを考えるということを受講生が自ら気づく機会になるよう、積極的に授業展開を図る。	1年次以上	特になし	若干名	2	【前期】 金曜日4時限 (14:40～16:10)	4月4日 （土）	4月10日 （金）	7月30日（木） 5限

No.	開講大学	開講部局 開講場所	科目名	担当教員	内容	対象者	履修条件	受入可能人数	単位	開講形態 集中・土日開講等	申込締切等	授業開始日	試験日
73	福岡大学	—	健康スポーツ論	檜垣　靖樹	身体活動量の不足あるいはエネルギー摂取量の過多に起因する生活習慣病の有病者数は増加の一途をたどっており、疾病予防を目的とした健康スポーツの果たす役割とその期待は大きい。国民の健康増進に資する基本的知識を習得し、氾濫する健康情報より有用な情報を選別できる能力を養うことを目的とする。まず、今までに報告された運動疫学関連の情報を整理する。1950年代に英国のモリス氏らが行ったバス運転手と車掌を対象とした心臓発作罹患のリスクを評価した研究、1970年代に米国のパッフェンバーバー氏らが行ったハーバード大学卒業生の身体活動量と心臓発作罹患に関する研究、さらには1980年代に澤田氏らが行った東京ガスの従業員を対象とした有酸素能力と生命予後、高血圧罹患リスク、がん罹患リスクなどの研究より、原因と結果の因果関係を探る手法とその解釈について学ぶ。次に、わが国で展開されてきた健康施策として、早期発見・早期治療の時代から一次予防重視への政策転換の意義を理解し、今後の健康施策のあり方について議論する。特に、2013年に発表された健康づくりのための身体活動基準については、十分に理解し実践できる能力を身につけることが重要である。最後に有疾患者に対する運動処方として、関係学会のガイドラインを参照し運動種目、強度、量などエビデンスに基づく運動療法の実際を習得する。	2年次以上	特になし	若干名	2	【前期】 月曜日1時限 (9:00～10:30)	4月4日 （土）	4月13日 （月）	7月30日（木） 3限
74		—	体力学	田中　守 田中　宏暁	体力という言葉に親しみのある人は多いであろう。「健康・体力づくり」「体力トレーニング」「日本選手は体力不足」などよく見聞きする。しかし体力とはどのように捉えられているのだろうか？競技力や健康とどのように関わるのか？体力は遺伝的に決まっているのだろうか？体力を効率よく高めるにはどうしたらよいか？さまざまな疑問が沸いてくる。もう少し具体的に書いてみよう。身体は適度に使うと機能が向上する。例えばかなり重いバーベルを何度か持ち上げると筋力がついてくることは誰もが知っている。しかしどの程度の重量をどれだけ繰り返して持ち上げれば良いのだろう？一方使わないと筋力は低下する。低下をくい止めるには最低どの程度の負荷が必要なのだろうか？筋力が付くと身体にはどんな変化が起こっているのだろう？どこまで高められるのだろう？筋力と競技力、健康とはどのような関わりがあるのだろう？このような疑問に答えるには身体の適応性ということを理解することが大切である。体力学を学ぶためには基本的な解剖生理学やスポーツ生理学の知識も欠かせないので、併せて学んでいってほしい。体力学を学ぶことは実際の健康づくりや競技力向上に欠かせないし、またすぐに役立つことが多い。身近な話題も交えて講義を展開していくつもりなので、授業中は活発な討議を期待している。	1年次以上	特になし	若干名	2	【後期】 木曜日1時限 (9:00～10:30) または 木曜日2時限 (10:40～12:10)	4月4日 （土）	9月17日 （木）	【H28】 1月19日（火） 4限
75		—	レジャー・レクリエーション総論	築山　泰典	「レジャーやレクリエーション」を論じる際、その背景に存在する「自由時間」との関係を考える必要がある。そのため、この言葉の意味はそれぞれの聞き手にとって日常の過ごし方によって異なり、また同じ人であってもライフステージ（幼児期から高齢期に至る6段階）によって変化するものである。必然的に「多様性を持った言葉である」との認識が必要となる。そして、このレジャー・レクリエーション活動の目指すところはそれぞれのライフステージに応じた“よりよい生活（QOL）の向上”であり、“よりよい健康（Wellness）”にあると考える。そのため、ウエルネスという言葉の理解も授業の中に組み込む。この講座を通じて、レジャー・レクリエーションに関しての知見を深め、それを活かした「自身のライフスタイル向上」を考えてもらいたい。そして、「実践的に人に伝えていくことのできるレクリエーション指導者としての基盤を形成する」ことが本講座の目標となる。その為、講座の中盤では教育・福祉・地域活動それぞれの側面からレクリエーションの役割について具体的に言及し、「レクリエーションを通じた社会貢献の在り方を」考察していく。また、実際の企画運営時、必要となる「リスクマネジメント」に関して言及し、具体的な企画作成を行う。	2年次以上	特になし	若干名	2	【後期】 金曜日3時限 (13:00～14:30)	4月4日 （土）	9月18日 （金）	【H28】 1月21日（木） 5限

No.	開講大学	開講部局 開講場所	科目名	担当教員	内容	対象者	履修条件	受入可能人数	単位	開講形態 集中・土日開講等	申込締切等	授業開始日	試験日
76	共同開講科目	九州大学 箱崎キャンパス	博多学	（九州大学） 坂上　康俊 田北　雅裕 （西南学院大学） 磯　望 宮崎　克則 （中村学園大学） 松隈　美紀 （福岡大学） 渡辺　亮一 （福岡歯科大学） 永井　淳	博多を博多湾や水事情および災害などの「自然」、対外交流、文化普及などの「歴史」、食文化、外来文化などの「文化」の面から考察する。	学部1年次以上	特になし ※博多学の現地見学においては、見学場所により多少の人数調整を行う可能性があります。	各大学 30人以内	1	集中講義 （約13時間講義＋実地見学）	所属大学の教務担当窓口にお問い合わせください。	実地見学 4/25（土） 5/9（土） 5/1（土） 5/23（土） のいずれか1日 集中講義 8/17,18,19 の3日間	試験なし